

# 2021 年度 北広島環境市民の会 総会議案書

---

## 審議事項

1. 第 17 期 2020 年度活動報告および決算報告
2. 監査報告
3. 第 18 期 2021 年度活動計画案および予算案
4. 役員改選（案）



## 第17期 2020年度活動報告書

(会員41人、法人5法人、賛助会員4人)

### 1. ごみの減量とリサイクル部

#### 【生ごみ】

##### ①生ごみの堆肥化講習会・講習会 11回(参加者85人)

	月 日	実施場所	参加者数
1	6月1日	庭先講習 東共栄展示園	8
2	6月15日	庭先講習 東共栄展示園	7
3	6月22日	庭先講習 東共栄展示園	9
4	7月6日	庭先講習 東共栄展示園	8
5	7月13日	庭先講習 東共栄展示園	8
6	8月3日	庭先講習 東共栄展示園	7
7	8月17日	庭先講習 東共栄展示園	7
8	9月28日	庭先講習 東共栄展示園	7
9	10月19日	庭先講習 東共栄展示園	5
10	11月27日	段ボール箱講座 市多目的室	6
11	11月28日	段ボール箱講座 市多目的室	13

- ・展示園、エコ農園(東共栄)、事務所での相談・指導、説明会等
- ・新型コロナウイルス感染拡大で一時事業中止(32回141人)

##### ② 展示園での堆肥作り

エコ農園で生ごみたい肥を活用した作物の栽培を通して、肥料としての有用性やごみ減量化について地域啓発活動を実施した。

また、収穫物の一部は事務所や活動する関係者および有機農産物取扱店で販売した。

##### ③ 肥料効果実験：生ごみ堆肥、あしるの恵み、事業系生ごみ堆肥の施用試験を実施した。

##### ④ 室内で利用できる「段ボール堆肥化」の資材を提供した。 12個

##### ⑤ 広葉交流センター「いこーよ」での堆肥を使ったミニトマトとサツマイモ栽培を行い、来館者および学童クラブ、児童センターの子ども達に、生ごみたい肥の必要性とごみ減量化の啓発活動を実施した。また、子供たちには収穫や試食等で体験の機会を提供した。

#### 【リサイクル】

##### ① リサイクル市、フリーマーケット市 中止

##### ② ごみ減量化、リサイクルについての相談・助言指導等は新型コロナウイルス感染拡大で一時事業中止した。(18回、74人)

##### ③ ミニ講座 4回開催、参加者21人

1	6月8日	事務所 布で小ものづくり	6
2	7月20日	事務所 ハンカチでブローチづくり	5
3	9月24日	事務所 和服生地で小ものづくり	4
4	10月19日	事務所 古毛糸で靴下カバーづくり	6

④ 環境広場でのごみ減量リサイクル広報活動：中止

## 2. 学習・研修部

① 公開学習会 総会を書面で実施したため、中止

② 市民リサイクル見学会 中止

③ 環境講演会 10月24日（土）、市多目的室 参加者43人

1	10月24日	講演会「SDGs ってなんだろう地球環境と私たちの生活」 「SDGs と廃棄物問題を考える」 北海道環境財団 久保田 学氏	43
---	--------	---	----

④ 環境学習会の開催 月1回程度、テーマを決めて自主的学習を行う予定だったが、中止。

## 3. 調査・宣伝部

- ・チラシ「北広島のごみの現状」を作成、1,000部 会員、来場者等に配布
- ・パンフ「ゴミ減量化の手引き」の作成、1,000部 会員、来場者等に配布

## 4. 活動広報部

- ・情報提供紙の発行 3回 ・ホームページの更新・北海道新聞記事掲載

## 5. 協働部

- ・環境諸団体との情報交換・情報収集：中止

## 6. 事務局

定例会の開催、各部との調整、補助金申請、会計処理、各種事務

## 2020(令和2)年度 北広島環境市民の会決算書

2020(令和2)年4月1日～2021年3月31日

[収入の部]

項目	2020決算	2019決算	前年比増・減△	摘要
繰越金	191,049	304,218	△ 113,169	
会費	104,000	99,000	5,000	会員@2000*38名、中途入会半額1,000*1名 法人会員@5000*5団体、賛助会員@1000*2名
助成金	300,000	300,000	0	北広島市廃棄物減量化推進事業交付金
事業収入	39,900	46,295	△ 6,395	物品販売益(Tシャツ、米ぬか、手芸品等)
寄付金	45,276	2,160	43,116	イオン
雑収入	7,501	41,400	△ 33,899	講習会等参加費7500、利息1
計	687,726	793,073	△ 105,347	

[支出の部]

項目	2020決算	2019決算	前年比増・減△	摘要
需用費	183,616	220,912	△ 37,296	事務用品、資料印刷代、講習会材料費、生ごみ堆肥化資材等 広報・普及啓発資材等 ゴミの現状チラシ、ゴミ減量化パンフ 各1,000部
旅費	121,050	196,680	△ 75,630	交通費 バス使用450円
報償費	10,000	69,000	△ 59,000	講習会講師謝礼
役務費	25,980	23,428	2,552	切手代
使用料	46,905	90,870	△ 43,965	講習会、講演会会場使用料 事務所費39000
雑費	12,757	1,134	11,623	雑用品、振込手数料
予備費	0	0	0	
計	400,308	602,024	△ 201,716	

収支差額 687726 - 400308 = 287,418 次期繰越金

### 2020(令和2)年度 会計監査報告

2021(令和3)年 4月 11日

提出された決算書類、預金通帳等を監査した結果、適正に処理されていること確認しました。

監事 奥野 章 

監事 田辺 優子 

## 第 18 期 2021 年度 活動計画書

基本を「SDGs」(持続的な開発目標)を念頭にした活動を目指す。

各部の活動に当たっては・活動拠点である事務所や展示圃場等の移転に伴い、新たな実施計画を立案し推進する。

コロナの感染状況を注視しつつ柔軟に対処できる計画を心がけ、活動の連続性を大切にす。

### 1、ごみの減量とリサイクル部

- ① 生ごみ堆肥化講習会・ミニ講習(コンポスター、段ボール箱、堆肥盤利用)  
講習会: 4回、ミニ講習: 6回を予定する。
- ② 展示園・エコ農園での栽培と啓発活動実施する。
- ③ 広葉交流センターで、いこーよ友の会の協力を得て農園の拡充を進める。
- ④ 布リサイクルミニ講座 年 10 回程度実施する。
- ⑤ 生ごみ堆肥を使って健康野菜を栽培し、市民に提供するとともに自主財源の確保に努める。

### 2、学習・研修部

- ① 学習会: 新型コロナ次第
- ② 市民リサイクル見学会 新型コロナ次第
- ③ SDGs についての連続学習会 新型コロナ次第

### 3、調査・宣伝部

- ① 宣伝 「環境ニュース」を 2~4 回発行し、ホームページで公開する。
- ② ホームページを自主管理できる体制を構築し、更新頻度を高め発信力を強化する。
- ③ 公開勉強会を検討する。

### 4、活動広報部 環境市民の会の活動を広報して会員増を図る

- ① 展示園の活動や学習会等、ホームページ上でも発信力を高め会員増を図る。

### 5、協働部

- ① 環境財団や北のごみ研究会など環境諸団体との情報交換・協働を進める。
- ② 行事参加: 環境広場は新型コロナで中止となったが他団体との連携等について情報交換を行う。
- ③ 関心の高かった生前整理や遺品整理問題について、関係先と最近の情勢について情報交換を行う。
- ④ 行政との意見交換を定期に実施する。

### 6、事務局

- ① 事務所の引っ越しや展示圃場の移転等に関連する諸事を整理しつつ各活動の推進を図る。
- ③ 定例会の開催、補助金申請、会計処理、親睦会、新会員の加入推進を進める。

## 2021(令和3)年度 北広島環境市民の会予算書

2021(令和3)年4月1日～2022年3月31日

[収入の部]

項目	2021予算	2020決算	予算比増・減△	摘要
繰越金	285,517	191,049	94,468	
会費	110,000	104,000	6,000	会員@2000*40名、 法人会員@5000*5団体、 賛助会員@1000*5名
助成金	300,000	300,000	0	北広島市廃棄物減量化推進事業交付金
事業収入	30,000	39,900	△ 9,900	物品販売益(米ぬか、手芸品等)
寄付金	10,000	45,276	△ 35,276	
雑収入	10,000	7,501	2,499	講習、見学会等参加費他
計	745,517	687,726	57,791	

[支出の部]

項目	2021予算	2020決算	予算比増・減△	摘要
需用費	250,000	183,616	66,384	事務用品、資料印刷代、講習会材料 費、生ごみ堆肥化資材等 広報・普及啓発資材等
旅費	200,000	121,050	78,950	講演講師旅費、活動交通費 バス使 用450円
報償費	50,000	10,000	40,000	講演会・研修等講師謝礼
役務費	25,000	25,980	△ 980	切手、郵送料、行事保険料
使用料	150,000	46,905	103,095	会場使用料、インターネット使用料等
雑費	12,000	12,757	△ 757	雑用品代、振込手数料等
予備費	58,517	0	58,517	
計	745,517	400,308	345,209	

### 2021 年度,2022 年度役員(案)

代表	藤野伸之	新
副代表	林眞樹子	再
幹事	棚田千恵乃	再
幹事	松下和子	再
幹事	山本博巳	再
幹事	齊藤富明	再
幹事	野島昭男	新
幹事	内山由子	再

幹事	竹島さかえ	再
幹事	高橋幸子	再
幹事	上野輝男	再
幹事	伊東正剛	再
幹事	高橋キミヨ	新
幹事	玉井智富	再
監査	奥野章	再
監査	田辺優子	再

---

## 北広島環境市民の会代表を辞めるにあたって

松田 従三

本会が設立したのは2004年11月ですので今年で17年が経ちます。私は2009年7月の生ごみリサイクル全国交流大会で講演させていただいたのがきっかけで入会しました。前会長神山先生が2012年10月に亡くなられて、その後私が代表を引き継ぎました。もう9年になりました。楽しく代表を務めさせていただきました。本当に皆さんにお世話になりました。特に会発足時から2017年3月まで事務局長をお引き受け頂いた神沼幸子さんのおかげです。本当に感謝しております。

環境市民の会は生ごみの堆肥化を活動の基本としています。会ができて10周年の時に2005年から2012年の7年間に講習会61回、出張・庭先講習248回を実施し延参加人数4,000人を超えています。これは驚くべき素晴らしい参加者数です。当時の会員の皆さんの頑張りに頭が下がります。

また当時町内会や各種団体による資源回収にもデータを集め、回収事業を勧めました。さらに最終処分地の延命化のために生ごみの分別・資源化活動も進めました。また2011年に下水処理センターに嫌気性発酵による生ごみのメタン発酵槽ができた時も、生ごみの収集率を上げるための活動もしました。本会が北広島市の生ごみ・資源ごみの回収利用に果たした役割は大きなものであったし、これからもそうあり続けるだろうと思います。

これからも益々北広島環境市民の会の活動が活発となり、北広島市がますます住みやすい町になるように祈っております。

---

## 代表就任あいさつ

藤野 伸之

就任に当たり一言ご挨拶申し上げます。

前代表の松田先生には八年間に亘り本会の礎を構築して頂きました。会員一同に代わり心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、本会は北広島市の家庭用ゴミ埋立処理に対する諮問を機に発足しました。会員の総意で「私たちができることから」を合言葉に「生ごみの分別と堆肥化」を進めつつ、合わせて「資源物のリサイクル活動」を行ってきました。

一方、世界では地球上の全ての人々がSDGsに参画すべき時代を迎えています。

法人会員や皆様と、これまでの活動を糧として未来志向で一步ずつ進んでいきたいと考えています。